

－ 3. 大阪駅前ビル今昔－



1935年 大阪駅前区画整理着手



1958年頃 大阪駅前区画整理地区（富士銀行が現在の第三ビル）



1969年 大阪駅前阪神百貨店横繊維街



2004年 大阪駅前ビル群と大阪駅方面

江戸時代は、灌漑水路が縦横にめぐる田園地帯であったが、明治7年に大阪駅開設以降、様相が一変。大阪の玄関として大きく発展したが、都市機能が脆弱であったため、戦前に北側4.7haの土地区画整理事業が完成し、南側地区が密集地区として残されていた。1958年にいったんは土地区画整理事業が決定されたものの、輻輳した権利関係などもあって結局既存制度では事業が行えず、市街地改造法の立法化に至り、1961年から市街地改造事業として再スタートした。1983年に完成。22年の歳月と2023億円の巨費を投じたこの事業は、わが国の都市再開発の先駆的事业である。

事業地区内には、約600店を有する梅田繊維街があり、その移転問題が大きな課題であったが、様々な経緯の末、新大阪駅周辺土地区画整理事業の区域内に、新大阪センシティとして集団移転した。

－ 4. 大阪ビジネスパーク今昔－



1945年 大阪砲兵工廠跡



1997年 大阪城とビジネスパークの夜景



1999年 大阪城と大阪ビジネスパーク

元々は、旧大和川などの合流する中州で、大阪城北東の戦略上の要衝地。1879年、陸軍大阪砲兵工廠が設置され、拡大されたが、1945年8月の大空襲で廃墟となり、その後放置されていた。その後、大阪市のビジネス発展のための整備が行われ、現在では大阪市のビジネスなどの重要な拠点となっている。